

平成30年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成30年度予算査定は、平成29年11月から平成30年1月にかけて実施し、平成30年2月19日に、平成30年度予算案を記者発表いたしました。

平成30年度の各会計予算案は、名寄市総合計画（第2次）で掲げた将来像の実現、事業の選択と集中の徹底、健全な財政運営の維持といった基本的な考え方にに基づき予算編成をいたしました。

なお、平成30年度は、市長選挙が行われる年度であることから、当初予算では、義務的経費や継続事業が中心となる骨格予算での予算編成となりました。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
御料線デマンドバス運行事業	要求額					郊外におけるバス利用が減少傾向にあることから、地域の方々の合意のもと、本路線の運行形態の見直しに向け、平成29年12月から平成30年1月まで、デマンドバスの実証運行を実施してきました。結果として、乗継なども問題なく、順調な運行が実施できたところです。 無人運行も多い状況となっている定時定路線のバス運行は非効率であること、デマンド型のドアツードアでの運行による利便性の向上や高齢者の方々の生活環境改善も考えられ、既にデマンドバス化している下多寄線同様、御料線についてもデマンドバスへの転換を図っていきます。
名寄駅と風連日進地区を往復するバス路線「風連御料線」の運行形態を見直し、利用が減少している風連日進地区から風連市街地の区間を、利用者からの予約により運行するデマンドバス（予約型の乗合バスのことを言います）に運行形態を見直し、効率的かつ利用者のニーズに対応した公共交通を目指します。	1,590				1,590	
	査定額				1,590	
	○実施					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
地域公共交通活性化協議会補助金 名寄市内における公共交通の課題を整理し、名寄市の公共交通に対する考え方を示す「地域公共交通網形成計画」を策定します。なお、策定にあたっては、市民の方や公共交通利用者及び関係機関等で構成する名寄市地域公共交通活性化協議会において検討し策定することから、その費用に対し助成しようとするものです。	要求額 4,990 ----- 査定額 4,990 ○実施				4,990 ----- 4,990	地域の公共交通は、学生や高齢者の方々などの日常生活の移動手段として不可欠であります。自家用車の普及や生活様式の多様化に伴い、公共交通機関の利用者が年々減少しています。 こうした状況から、公共交通の抱えている課題を把握し、これからの地域公共交通をどのように構築していくかが喫緊の課題であることから、当初予算にて予算を計上いたしました。
国際交流事業 姉妹都市のカワーサレイクス市リンゼイと友好都市のドーリンスク市との間で、市民団体による人的交流を中心に相互交流の推進に努めています。 また、平成25年度からは台湾との交流事業を推進し、交流の活性化に向けた取組みを実施しています。	要求額 7,208 ----- 査定額 2,481 △一部見直し			1,000	6,208 ----- 2,481	カワーサレイクス市リンゼイとドーリンスク市との交流では、相互派遣事業や周年事業を通じ、引き続き、側面的に支援していきます。 台湾との交流では、交流の窓口や推進体制の一本化、更には、交流事業内容の再構築を検討していることから、当初予算においては、一部予算を見直し、経常的な予算のみを査定いたしました。
待機児童解消緊急対策事業 待機児童の解消に向け、潜在保育士等の就労支援や保育士資格等を取得し、新たに名寄市で勤務する保育士・幼稚園教諭への支援、更には、保育施設等が実施する保育士等の宿舍借り上げに要する経費に対し支援しようとするものです	要求額 9,480 ----- 査定額 9,480 ○実施	3,600 ----- 3,600			5,880 ----- 5,880	年少人口はなだらかな減少傾向にあるものの、子育て環境の変化などにより、子育てサービスに関するニーズは多様化しています。特に、3歳未満児に対する保育ニーズが高く、待機児童の解消と併せて、保育士の確保は喫緊の課題の一つとなっています。 そのため、保育士・幼稚園教諭の確保対策については重要な課題、施策として捉え、平成29年度の補正で、一部事業を開始してきておりますが、平成30年度においては、さらに支援の拡充を図り、市内保育施設等に対する保育士等の確保、掘り起こし、定着に向けた対策に取り組み、総合計画（第2次）前期計画の重点プロジェクトである「安心子育てプロジェクト」を踏まえ、進めていきます。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
となみが丘霊園改修工事 となみが丘霊園は、傾斜地に整備されていることから、供用開始からの経年劣化や、近年の大雨等の影響による法面の崩れを防止するため、法面の改修工事を実施しようとするものです。	要求額 11,837 ----- 査定額 6,858 △一部見直し				11,837 ----- 6,858	となみが丘霊園の法面につきましては、平成27年度に急傾斜や経年劣化が原因による法面崩れで、お墓に被害が及ばないよう緊急性のある5か所について改修工事を実施してきております。 今回の予算査定では、その時に用いた工法や景観について検証し問題がないものと判断できたことから、現状における危険性や緊急性の高い3個所について予算計上しました。 今後におきましても、状況を確認しながら計画的な改修を検討していきます。
産婦健康診査・産後ケア事業 名寄市立総合病院における産婦健康診査2回分の費用の助成と退院直後の母子に対して、助産師による心身のケアや育児サポートなどのきめ細かな支援を実施し、その費用を助成しようとするものです。	要求額 2,425 ----- 査定額 0 × ゼロ査定	1,212 -----			1,213 ----- 0	従来から保健センターを中心として実施している保健事業に加え、新たに産婦健康診査・産後ケア事業を実施することで、産後の初期段階における母子に対する支援の強化と、妊婦期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図ることができると考えます。 しかし、新たな政策的事業であることや、実施に向けて、利用しやすい手続方法や各関係機関等の調整、また、十分な周知方法について検討が必要であると判断し、当初予算ではゼロ査定としました。
小型有害鳥獣処分業務 小型有害鳥獣（アライグマ）の専門知識を有する業者に、アライグマの調査捕獲・殺処分ならびに生態調査や各関係者への技術指導を委託し、捕獲効率の向上を図っていきます。	要求額 1,981 ----- 査定額 1,981 ○実施				1,981 ----- 1,981	特定外来生物のアライグマは環境適応能力、繁殖力が高く、年々生息頭数の増加が推測され、農作物の食被害のみならず、住居への侵入、感染症の拡大など様々な被害を及ぼす可能性が想定されています。 ついては、適正な駆除活動に取り組む必要があるとともに、生態調査での情報や捕獲技術について各関係機関がしっかりと情報共有し、効率的な捕獲体制を確立することが重要と捉え、当初予算にて予算を計上しました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
商業指導団体等への運営支援 商工会議所、商工会をはじめとする各種商業指導団体の事業や運営に対し支援を行ない、市内中小企業者の育成、経営基盤の強化、商工業の振興を図っていきます。	要求額					商業指導団体等に対する運営支援については、地域経済の活性化を目指し、毎年度、継続的に支援しておりますが、平成30年度においては、地域経済の大きな課題となっている地元企業の人材不足や後継者不足に対する取り組みに対し支援を行い、本市経済の持続的な発展を目指してまいります。
	18,880				18,880	
	査定額 18,880 ○実施					
なよろ温泉整備事業 なよろ温泉サンピラー（研修施設）改修に係る基本設計を実施しようとするものです。	要求額					なよろ温泉サンピラー（研修施設）については、宿泊、レストラン、スキー場（ロッジ）の三つの機能を備える施設ですが、施設の老朽化、機能の陳腐化から改修を図る必要があります。改修内容や工期などについては、基本設計の中で合理的、効果的な手法を検討してまいります。これまで改修に当たり多くのご意見をいただいております。新たな政策的事業であることから、当初予算ではゼロ査定としました。
	16,400				16,400	
	査定額 0 × ゼロ査定					
都市計画マスタープラン見直し 及び 立地適正化計画策定業務 まちづくりの基本的な方針である「名寄市都市計画マスタープラン」の中間見直しとコンパクトシティを具体的に進めるための立地適正化計画を策定します。	要求額					本市においても、人口減少、少子高齢化が進展しておりますが、住む人にも訪れる人にも快適で魅力があり、更には、都市としての持続的な発展や成長を形成していくためには、都市計画マスタープランに基づいた計画的な事業の推進が不可欠です。 また、現在、国が進めているコンパクトプラスネットワークの考え方に沿った、都市計画マスタープランの高度化版である「立地適正化計画」では、医療、福祉、商業、公共交通など様々な資源を集中的、効率的に利用することで、持続可能なコンパクトシティ化を目指すことが重要とされています。 平成30年度においては、都市計画マスタープランの中間見直しとともに、立地適正化計画策定に向け、多くの市民の方々の意見交換や情報共有により、市民との協働によるまちづくりを着実に進めてまいります。
	9,038	2,125			6,913	
	査定額 9,038 ○実施	2,125				

事業名及び概要	事業費	財源内訳				
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
特別支援教育学習支援員の配置 児童生徒の障がい等の状態に応じた支援体制の充実のため、特別支援教育学習支援員の増員を図っていきます。	要求額 66,566 ----- 査定額 66,916 ○実施				66,566 66,916	名寄市においては、平成20年度より特別支援教育学習支援員の配置を行なってきておりますが、特別支援教育の一層の充実を図るためには、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行っていくことが重要であることから、平成30年度においても学習支援員を増員し、小中学校教育の充実に努めていくものです。
冬季スポーツ拠点化事業 冬季スポーツによる地域の活性化と名寄の自然環境や特徴を活かしたまちづくりを行ないます。 また、名寄市の様々な資源を活用し、ジュニアアスリートの育成や市民の健康づくりなど、スポーツ・運動を通じた地域づくりに取り組んでいきます。	要求額 44,512 ----- 査定額 42,959 △一部見直し	16,252 16,252			28,260 26,707	総合計画（第2次）前期計画の重点プロジェクトにも掲げている「冬季スポーツ拠点化事業」ですが、これまでの着実な事業の取り組みから、広く認知されてきているところです。 平成30年度においても、各種冬季スポーツの普及振興はもちろんのこと、冬季スポーツを通じた地域活性化に係る施策の検討、ジュニアアスリート育成に係る測定機器の導入、更には、ホスタウン事業として台湾のバドミントン競技にスポットを当てた合宿の誘致など、引き続き、多くの事業を展開し、将来的にはナショナルトレーニングセンターの誘致を見据え、冬季スポーツ育成の拠点化を目指すべく取り組みを進めていきます。
スポーツセンタートイレ改修工事 スポーツセンタートイレの全面改修工事（洋式化及び配水管設備の改修）を実施しようとするものです。	要求額 62,000 ----- 査定額 0 × ゼロ査定				62,000 0	昭和50年建築のスポーツセンターは施設の老朽化が進んでいるとともに、トイレの大半が和式であること、障がい者用トイレにおいても配置が悪く利用に支障をきたしていることなどを解消し、利用される方々へ快適な施設環境の提供を図ることは重要ではありますが、大規模改修であり、改修内容や工期、財源などについて再度検討すべきと判断し、ゼロ査定としました。